

事業実績報告書

様式 2
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	C-25	講座名	【スポGOMI大会IN名古屋】環境系企業と一緒にゴミ拾い！
------	------	-----	-------------------------------

記載日	2020/2/3	団体名・企業名	環境シゴト博実行委員会
-----	----------	---------	-------------

〈講座全体の概要〉(300字程度)

環境シゴト博とスポGOMIがコラボレーションしたゴミ拾いイベントです。参加者にはスポーツ感覚でゴミ拾いを行い、ゴミ拾いを楽しく身近に感じて頂くのと、環境系企業からの専門豆知識も知って頂き学んで頂くことを狙っています。

3～5名のチームに別れ、藤前干潟を舞台にゴミ拾いをしました。11月後半にも関わらず汗ばむ様な晴天で絶好のスポGOMI日和となりました。ゴミ拾いを終えて計量に移ると自分達がどれだけのゴミを集められたのか数値化されるので、興味津々で計量器を覗き込んでいました。



※写真1の説明

ゴミ拾い開始前。参加者みんなで「ゴミ拾いはスポーツだ！」と掛け声を行いました。

※写真2の説明

ゴミ拾いを終えて、計量前にチームで記念撮影。ゴミ拾いを楽しんでいました。

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

初めての試みで、不安な面もありましたが、概ね好評でしたので良かったですと感じています。チームでゴミ拾いをする、最後に計量（ポイント化）して、表彰をするというのが盛り上がった要因だと思います。ただ、運営面での段取りなど改善点は数多くありました。「もう少し長い時間ゴミを拾いたかった」という声も参加者からのお声も頂いておりますので次回は改善したいと思います。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

- ・ただゴミ拾いをするのではなく“スポーツ”にする事で「より沢山拾おう」と思い楽しかったです。
- ・本気でゴミ拾いする楽しさを知れた。
- ・気を付けて見たらキレイそうな所でもいっぱいゴミがあって、本当にキレイにする事が大変であることを思い知らされ、気づく事が出来たから。
- ・ゴミ拾いの時間が少なかった。ゴミを拾うことより大切なことがありますか？
- ・もっと時間が欲しかった。細くなったプラスチックをスコップなどで取れば良かったかなと思いました。
- ・もう少し規模を大きくして運営サイドも人を揃えると良いかと思いました。

●団体紹介

団体所在地	〒		
連絡担当者	青木（環境シゴト博運営企業：株式会社ジオコス）	ウェブサイト	http://kankyo.work/
TEL	052-221-1024	FAX	052-221-1043
E-mail	aok@jyocos.co.jp	携帯電話	080-1603-9915
〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度)			
水処理や、土壌処理、産業廃棄物処理、リサイクルなど、環境保全企業を主体とした企業で構成された「環境シゴト博」を開催しています。就職活動を控える学生を中心に、環境業界への興味喚起、あるいは業界・仕事理解、人材育成・採用を目的としています。			

●講座開催情報

第一回	講座名	【スポGOMI大会IN名古屋】環境系企業と一緒にゴミ拾い！	開催日	11月23日	月
	講師名		参加人数	24名	名
	内容	スポーツ感覚でゴミ拾い！？スポGOMIは従来型のゴミ拾いにスポーツのエッセンスを加え、今までの社会奉仕活動を競技へと変換させた日本発祥の全く新しいスポーツです。			
第二回	講座名		開催日		
	講師名		参加人数		名
	内容				
第三回	講座名		開催日		
	講師名		参加人数		名
	内容				
第四回	講座名		開催日		
	講師名		参加人数		名
	内容				